

ゴミの減量に取り組みましょう



市内のごみ 排出量の概要

国東市全体のごみ排出量は、平成18年度以降のデータで見ると、わずかながら減少しているものの、主な原因は人口の減少に伴うものであり、一人当たりのごみ排出量で見ると、ほぼ横ばいとなっています。

平成21年度のクリーンセンター搬入ごみ量は8,507.6トンで、そのうち事業系・店舗などから排出される事業系ごみは3,052.46トンとなっており、全体の排出量の約4割を占めています。ごみ減量のためには、市民と事業系が一丸となった取り組みが不可欠です。



【ごみ収集実績】

単位: t

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
クリーンセンター搬入ごみ	8,710.01	8,702.45	8,660.58	8,507.60	
家庭ごみ	可燃ごみ	4,930.97	4,847.01	4,751.15	4,699.86
	不燃ごみ	868.84	799.68	727.08	755.28
事業系ごみ	可燃ごみ	2801.33	2976.26	3118.96	3002.38
	不燃ごみ	108.87	79.50	63.39	50.08
古紙回収(ストックヤード)	988.40	935.20	871.56	855.41	



ごみの分別と減量・リサイクルを進めましょう

古紙

ごみ質分析(平成21年度実施分)の結果によると、クリーンセンターの焼却炉に投入された可燃ごみの構成比率として、「紙・布類」が約57%、「ビニール・合成樹脂、ゴム、皮革類」が約25%、「生ごみ類」が約8%、「木、竹、わら類」が約7%、それら以外が約3%となっています。

紙ごみの中には、家庭ごみでは新聞や雑誌、事業系ごみではOA用紙やカタログなどといった再生利用が可能なものが含まれており、ごみ全体に占める比率も高いため、ちょっとした努力によりすぐに減量の効果が現れます。普段の生活においても、次のような取り組みを心がけましょう。

① 古紙回収(ストックヤード)の利用